

自転車のルール(交通違反)が強化されます。

2026年4月1日から、自転車の交通違反に対する「青切符」制度が導入され、反則金が科されるようになります。これは、自転車の悪質な交通違反に対する取り締まりを強化するための措置です。

具体的には113種類の違反行為が対象で、反則金の額は3,000円から12,000円までと定められています。



主な変更点と注意点

◆青切符制度の導入

自動車と同様に、自転車の交通違反にも青切符が導入され反則金を納付することで刑事罰が科されない制度になります。

◆対象になる違反行為

113種類の違反行為が対象になり、例えば、2人乗り、並進、信号無視、一時停止無視、携帯電話使用(ながら運転)、酒気帯び運転などが含まれます。

◆歩道通行のルール

原則として車道通行ですが、歩道に「普通自転車歩道許可」の標識がある場合や、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な人が運転する場合などは例外的に歩道を通行できます。

◆反則金の額

違反行為によって異なりますが、例えば2人乗りや並進は3,000円、ブレーキがない自転車の走行は5,000円、歩道通行や逆走は6,000円、携帯電話使用は12,000円などとなっています。

◆悪質な違反は赤切符

酒気帯び運転や酒酔い運転など、悪質な違反はこれまで通り赤切符で対応し、刑事罰の対象になります。

2026年4月の施行に向けて、自転車の運転者は交通ルールを遵守し、安全運転を心がけましょう。



かいよしゆ

歳をとっても見守り隊



●よい子は まっすぐ かえりましょう。



広報

みのう

発行: 三納地域づくり協議会
会長 米良 広行
編集: 広報部(事務局)
住所: 西都市大字三納3312番地
☎(FAX)0983-45-1134



必死にニジマスを追いかける子供たち

『やったあ つかまえた』

三納川魚のつかみ取り大会

子供たちがニジマスを手で捕まえる「魚のつかみ取り大会」が8月17日(日)、三納川で開催されました。川原に設けられた特設プールにはニジマス300尾が放流され、市内外から幼児及び小学生約50人が参加。この催しは三納地域づくり協議会が、子供たちに三納の自然に親しんでもらおうと夏休み期間中に実施しているものです。

年齢ごとにプールに入りつかみ取りに挑戦。保護者の声援を受けながら逃げ回るニジマスを追いかけて、魚をつかまえると「やったあ つかまえた」と歓声を上げ嬉しそうでした。



捕まえたニジマスを大事そうに親に渡す子供

お知らせ

◎宮日新聞の『若い目』欄に掲載されました。

■7月30日 三納小中 小学部 5年 米田 吏玖(りく) 題『初めての田植え』

◎全国珠算教育連盟主催珠算・暗算検定試験合格者(5/25)

■珠算 2段 三納小中 中学部2年 押川 颯翔(はやと)

みのう元気未来フェスタ2025 11月1日(土) 開催予定

内藤記念博物館などを視察

三納地区自治公民館長・女性部長研修



延岡市の内藤記念博物館を訪問した三納地区の自公連の皆さん

延岡市の内藤記念博物館や川南町の宮崎県農協果汁株式会社工場などの視察研修が7月11日(金)、自治公民館長と女性部長の11人が参加して行われました。

内藤記念博物館は令和4年に改装され、昭和30年代の生活様式の展示物が陳列されており、参加者は懐かしさを感じていました。また宮崎県農協果汁株式会社では、サンA果汁等の自社製品のジュースだけでなく、他社製品で伊藤園の「おいお茶」などの製品を多く製造しており、自社製品は全体の3パーセントしか作っていないと知り、皆さん驚いていました。参加者は「普段見ることのできない工場見学や延岡の歴史を知ることができ参加してよかった」と感想を述べていました。

初めて女性の舞も登場

平郡神社で夏例大祭

大国主命を祀る平郡神社の夏祭りが6月22日(日)に開催されました。五穀豊穡、家内安全を祈願し毎年行われています。今年は女性による初めての神楽舞や恒例になった勇壮な蛇切り神楽等が舞われました。境内ではかき氷とせんぐまきの振舞いも行われ、多くの人が訪れて賑わいました。

総代の高橋一利さんは「今年も盛大に祭りを行うことができました。11月9日(日)には、秋例大祭を計画しているのでたくさんの人に来ていただきたいです」と話されていました。



今年は初めて女性による神楽が舞われました。

冷たいそうめんに舌鼓

100杯の流しそうめんを楽しむ



流れてくるそうめんやフルーツに舌鼓を打つ参加者。

100杯の竹樋を使ったそうめん流しが7月27日(日)、宮の下地区で行われました。地元の居酒屋が主催になり、家族や子供たちの夏の思い出になるようにと開催したもので、たくさんの子供連れの家族や近所の人たちなどが訪れていました。会場には、かき氷やポテト、から揚げの販売や金魚すくいなどの出店が並び、アイスの無料配布やネイル体験などもあり縁日の風情も。

3回に分けて流されたそうめん20kgのほかに、ミカンや桃などの果物も流され、子供たちは100メートルのそうめん流しを楽しんでいました。



みのう あちこち



7/1

七夕飾り



札の元保育園の園児が、短冊に願いを書いた七夕飾りを市役所三納支所や農協支所、駐在所、郵便局などを訪れプレゼントしました。

7/6

七夕まつり



高齢者クラブ山桜会の七夕祭りはこの時期の恒例行事で29人が参加。市長や地元市議も出席。短冊に各々願いを込めて飾り、食事などをして懇親を深めました。

7/16

視察研修



生涯学習の三納初瀬さわやか教室の皆さんが、令和6年6月に開館した「都於郡歴史館」を訪問。都於郡城や伊東マンショなどの歴史や文化を学びました。

8/16

忠魂碑を清掃



終戦の日になみ、先の大戦等で亡くなった英霊を祀る忠魂碑やその周辺の広場を、遺族会の皆さんが草払いをしてきれいにしました。

夏祭り 賑わう

西都のど自慢&三納盆祭り

三納の賑わいを取り戻そうと、三納中の3年生が企画・立案。祭りの主体となった中学3年生に保護者や教師、祭りの運営を支援する三納フォローアップ委員会も設置され、多くの協力者を得て「西都のど自慢&三納盆祭り」が8月16日(土)、三納地区館前の広場で開催されました。

会場には、食べ物や金魚やヨーヨーすくい、射的ゲームなどたくさんの夜店が並び、ステージではのど自慢やラムネ早飲み競争、大型テレビが当たる抽選会など多彩な催しがあり多くの人で賑わいました。

中学3年生の柴田彩妃(さき)さんは「ふるさとを盛り上げたいという私たちにとって、祭りの企画や運営は初めての経験でしたが、保護者や地域の方々の協力で思いが形になりました。そして多くの来場者があり本当にうれしかったです。支援していただいた皆さんに感謝しています」と話していました。



射的やヨーヨーすくいなど中学3年生が運営しました。



中学生制作の竹灯籠のフотスポット



優勝賞品は3万円相当ののど自慢大会



ラムネの早飲み競争



多くの人出で賑わった盆祭り

季節の豆知識

旬の魚介 さんま

すべてが国産、天然物というサンマ。9月～11月が旬で、塩焼きは絶品の秋の味です。良質なタンパク質や脂質、血液をさらさらにするDHAなどが豊富です。

選ぶときは、ピンと皮が張り、背が青黒く光っているもの、黒目のまわりが透明なものを。口先が黄色いのは、脂がのっているしるしです。

近年の不漁で、庶民の秋の味覚も高騰の心配も。



さんま

都於郡の歴史と文化を学ぶ

三納初瀬さわやか教室



施設の係員から説明を受ける参加者

生涯学習の三納初瀬さわやか教室の皆さんが、昨年6月にオープンした「都於郡歴史館」を7月16日(水)に訪問して、都於郡城や伊東マンシなどの歴史や文化を学びました。

都於郡歴史館は神楽酒造会社の西の都アグリ館の1階に併設し、日向伊東氏の居城「都於郡城跡」、天正遣欧少年使節の「伊東マンショ」、都於郡城跡北側の奈良瀬坂から発見された「ナウマンゾウの化石」を3大コンセプトとした歴史展示施設です。参加者は「貴重な歴史資料などを見ることができてたいへん勉強になりました」と感想を述べていました。

